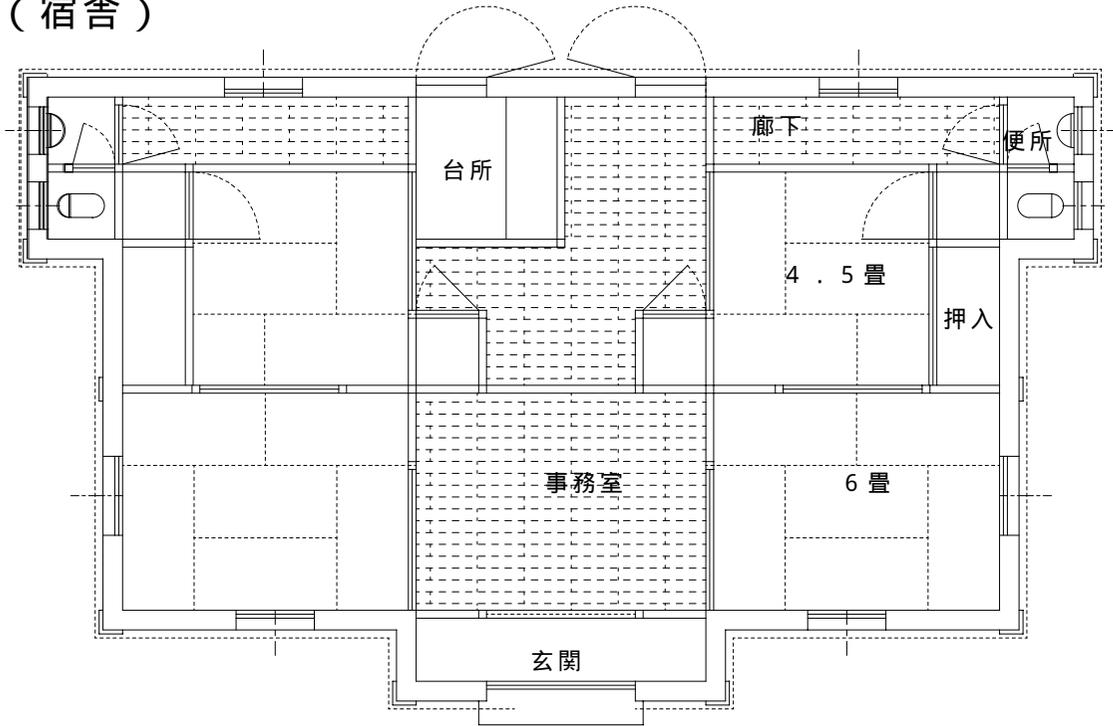
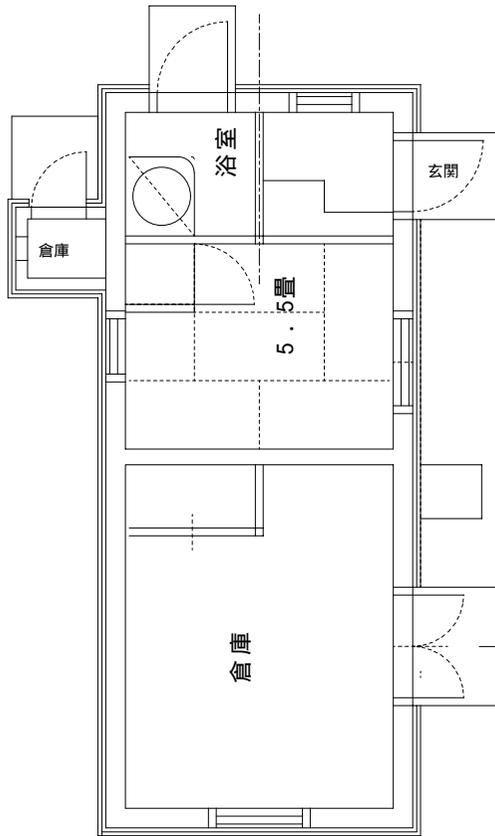


退息所（宿舎）

倉庫建



明治期に建造された灯台 M 3 5 鉄造
ペーパークラフト NO.180

大浜灯台（初代）O Hama S,1/100

来島海峡南口 N 34-05 E 132-59

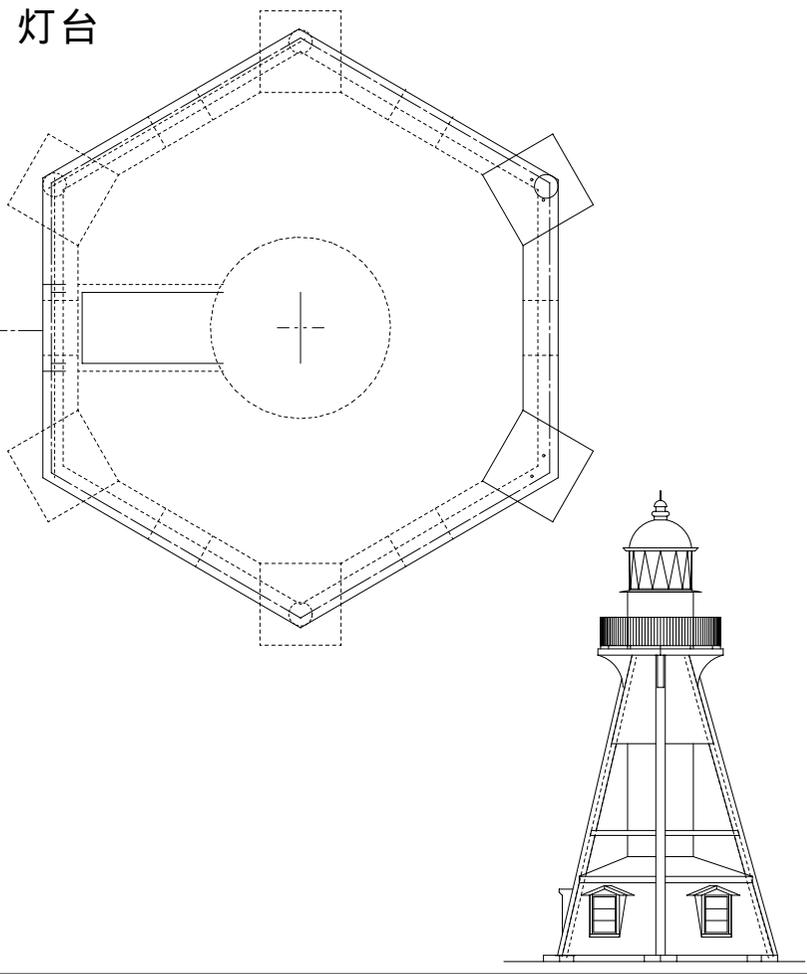
灯台の大きさ等（明治44年3月 航路標識便覧表）
高さ：灯火 12.4m(4丈1尺) 光り 水面から34.5m(11丈4尺)
建物：鉄造 六角型 白色
光りのとどく距離：7,000燭光 16.5海里（約30km）
光りかた：第四等閃白色 12秒を隔て8秒間に3閃光
設置年月：明治35年 4月 日

大浜灯台 明治35年4月建設当時（想定）

同タイプの灯台

- 和田岬 M 0 5
- 姫崎 M 2 8
- 横浜東・北水堤 M 2 9
- 曾津高崎 M 2 9
- 津堅島 M 2 9
- 長崎鼻 M 3 0

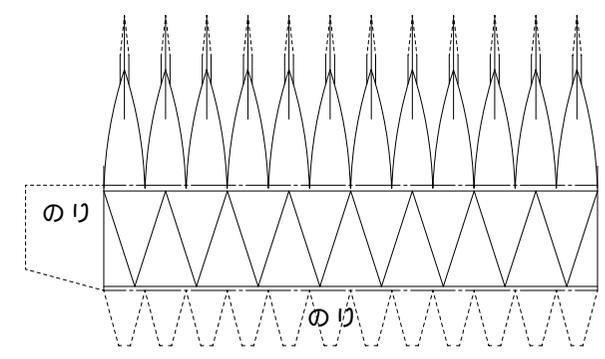
灯台



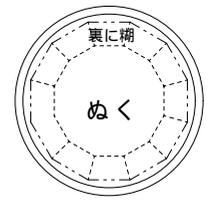
台紙を重ねて貼る

A・B 共通部材

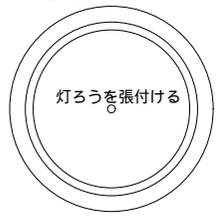
第四等灯ろう



灯ろうひさし



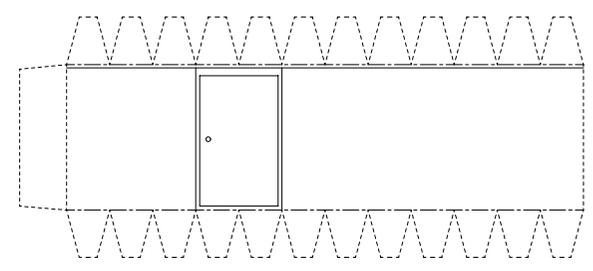
地覆



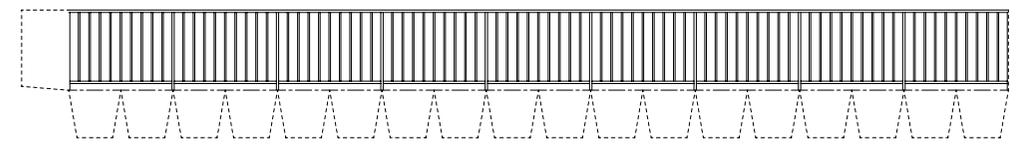
踊り場



胴壁

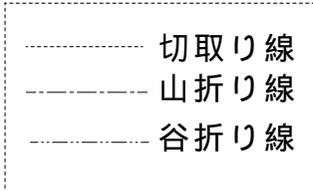
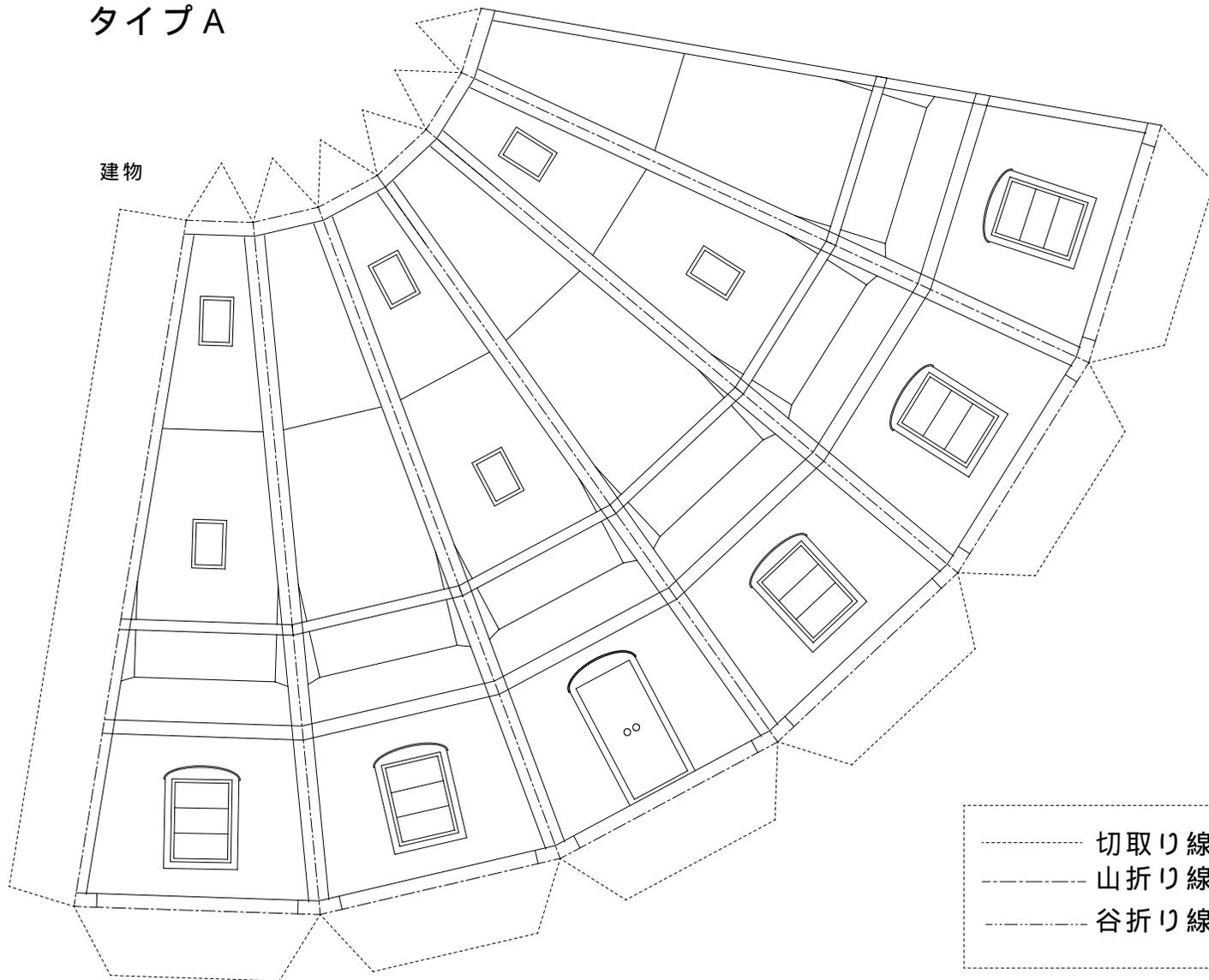


踊り場手すり

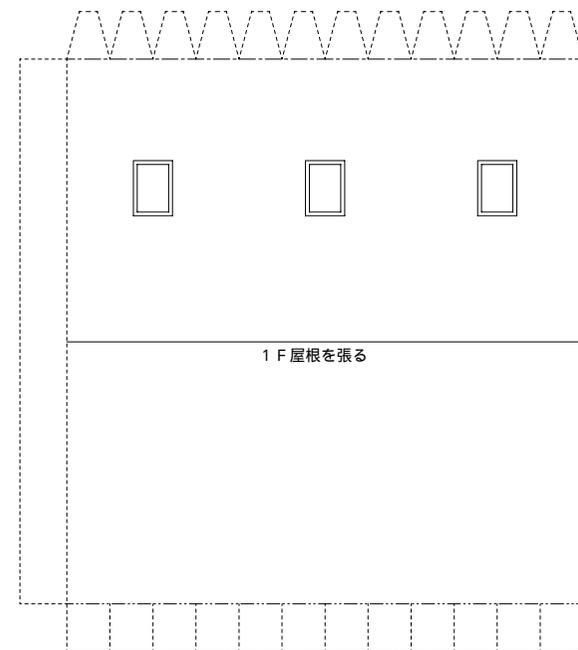


タイプA

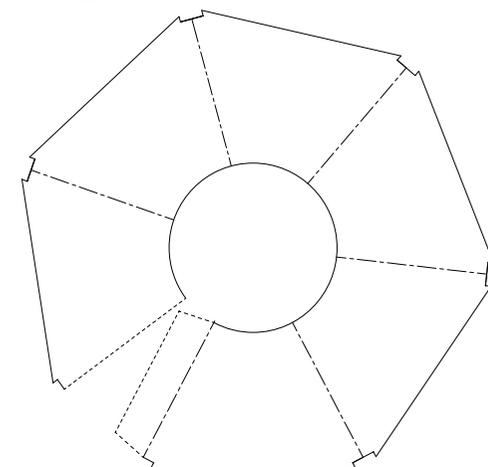
建物



中筒

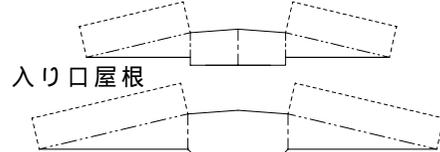
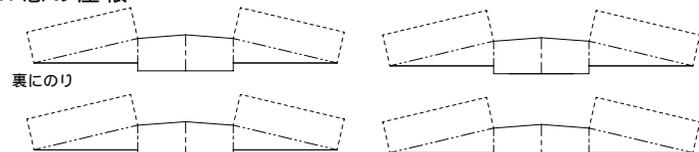


1F屋根



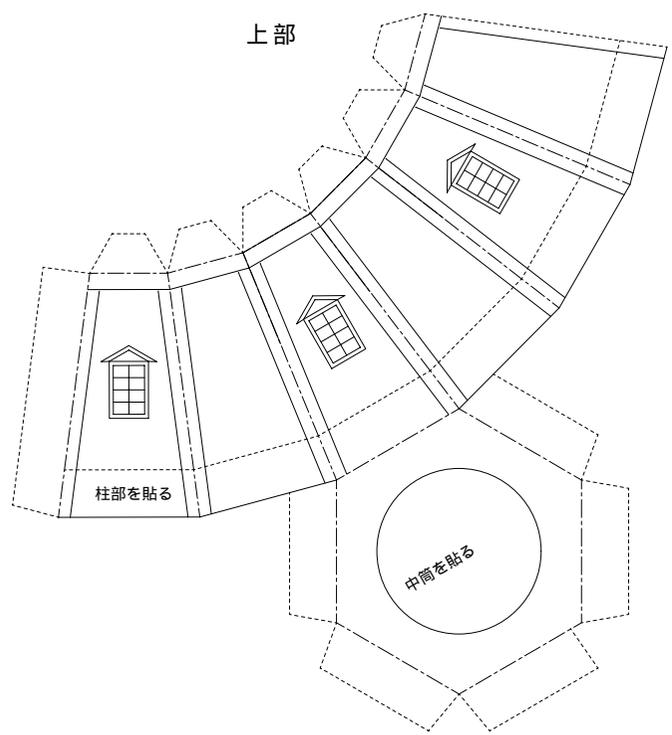
A・B 共通部材

1F窓の屋根

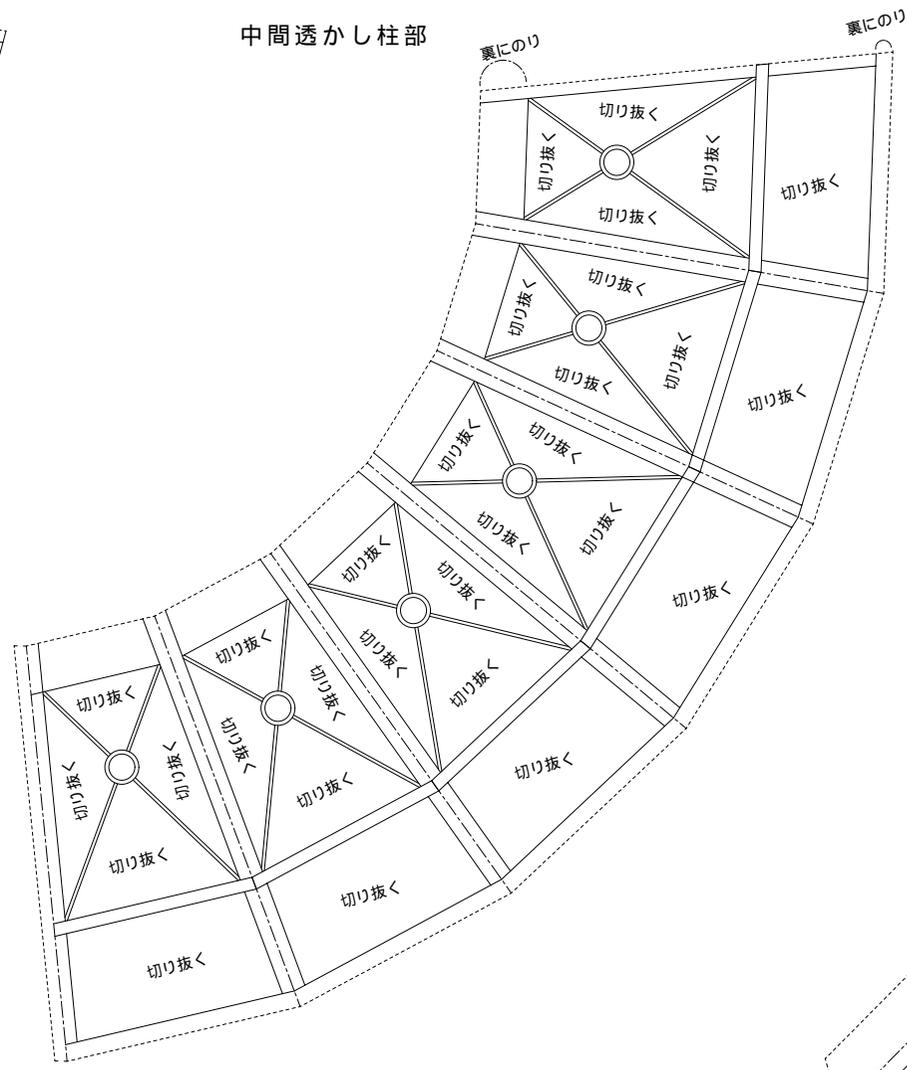


大浜灯台 明治35年4月建設当時(想定)

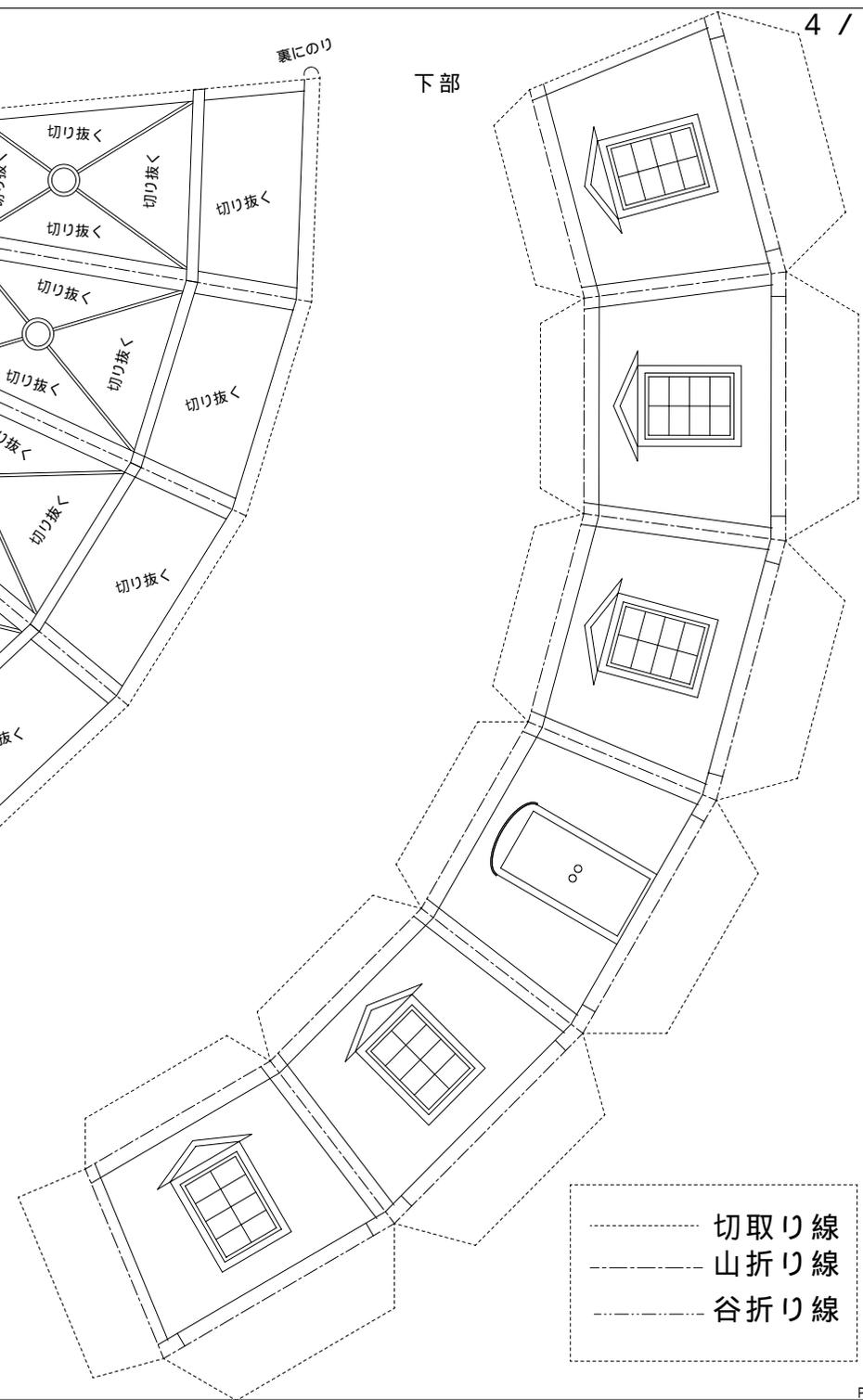
上部



中間透かし柱部

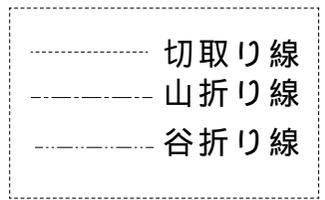
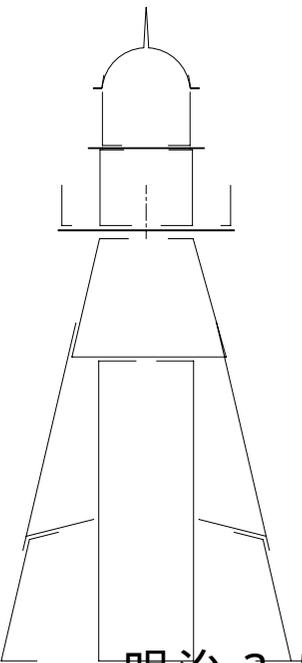


下部

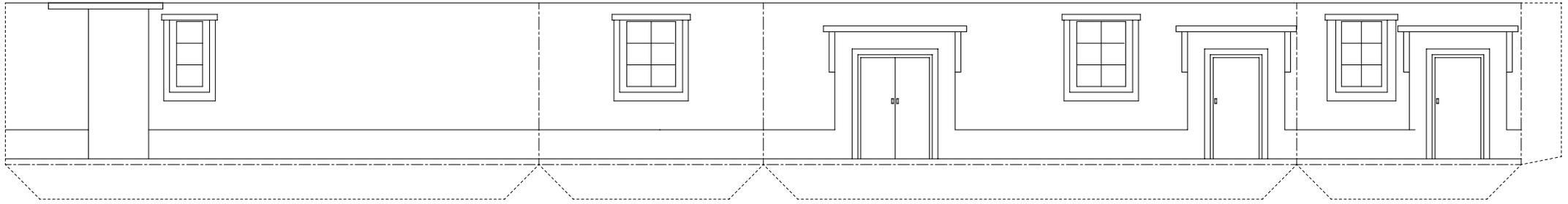


組み立て方

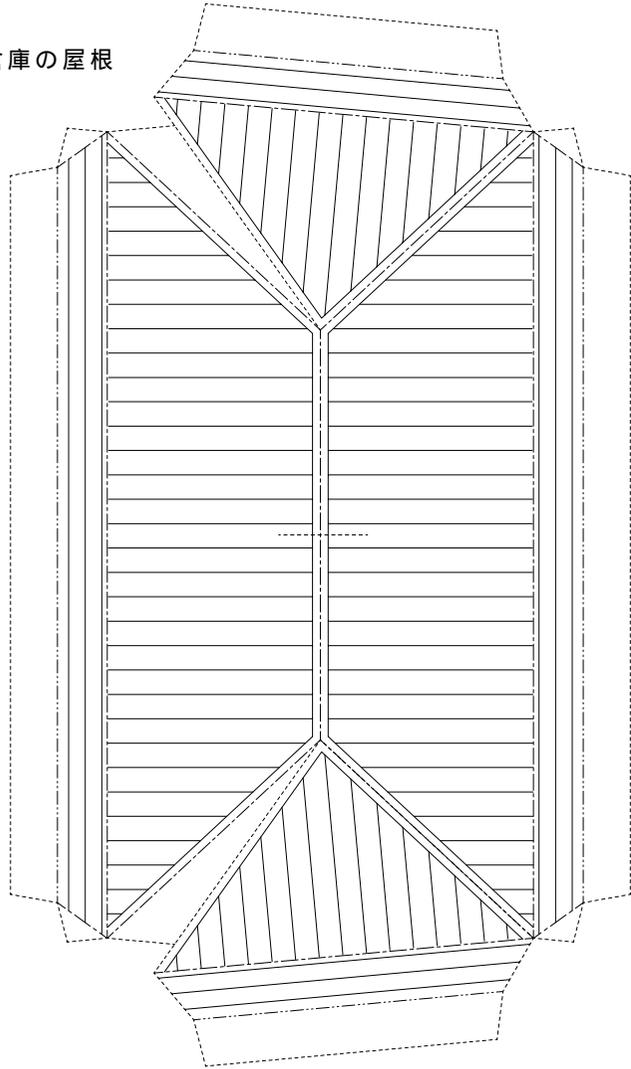
タイプ B



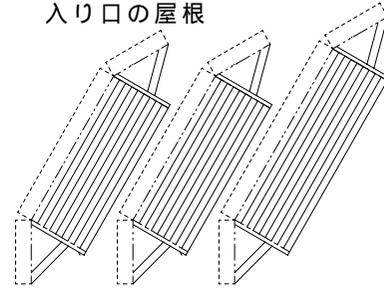
大浜灯台 明治35年4月建設当時(想定)



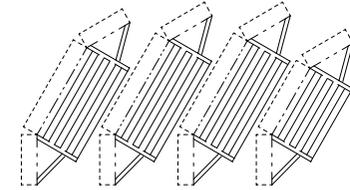
倉庫の屋根



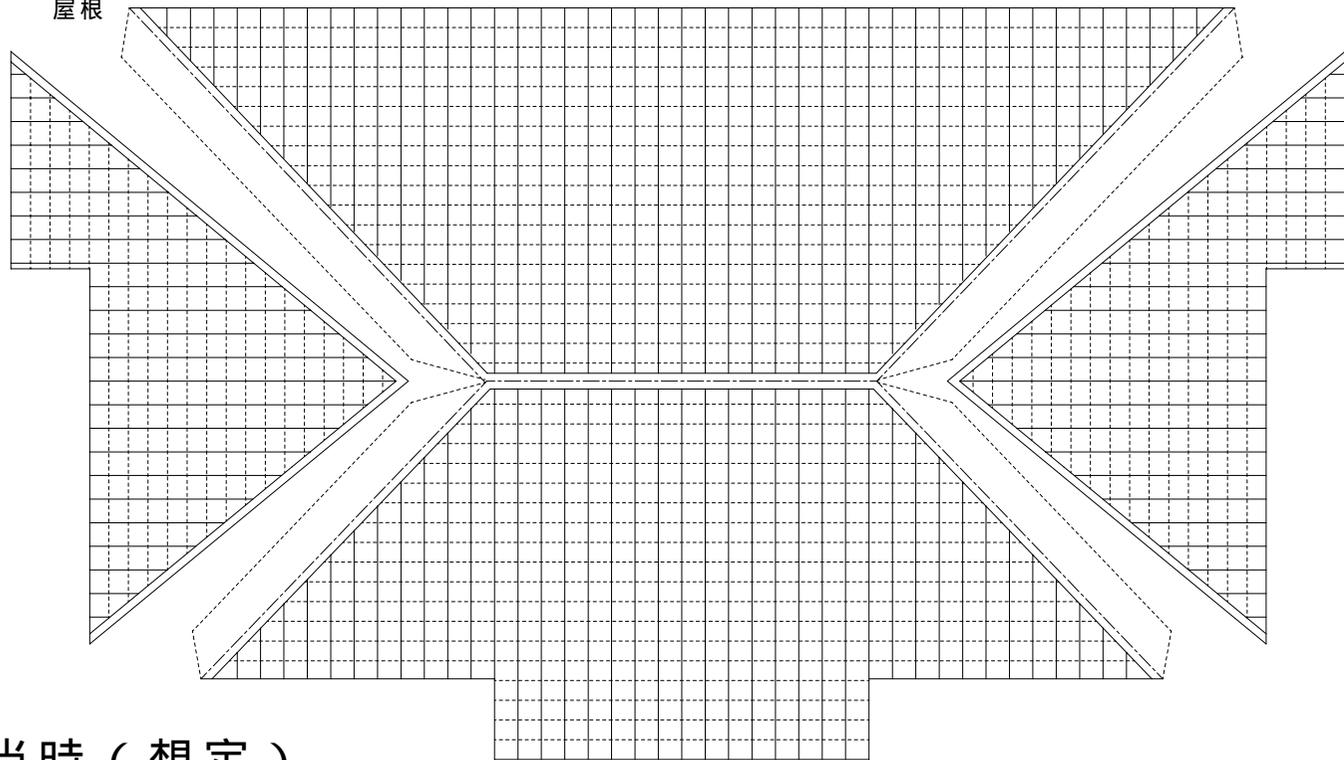
入り口の屋根



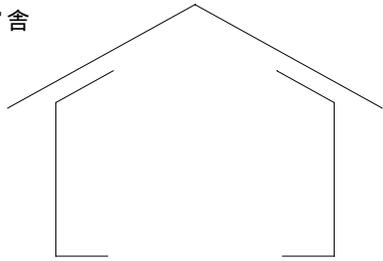
窓の屋根



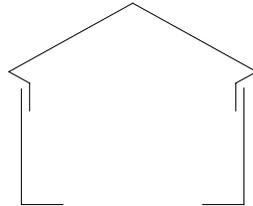
屋根



宿舎



倉庫



----- 切取り線
 - - - - - 山折り線
 ····· 谷折り線

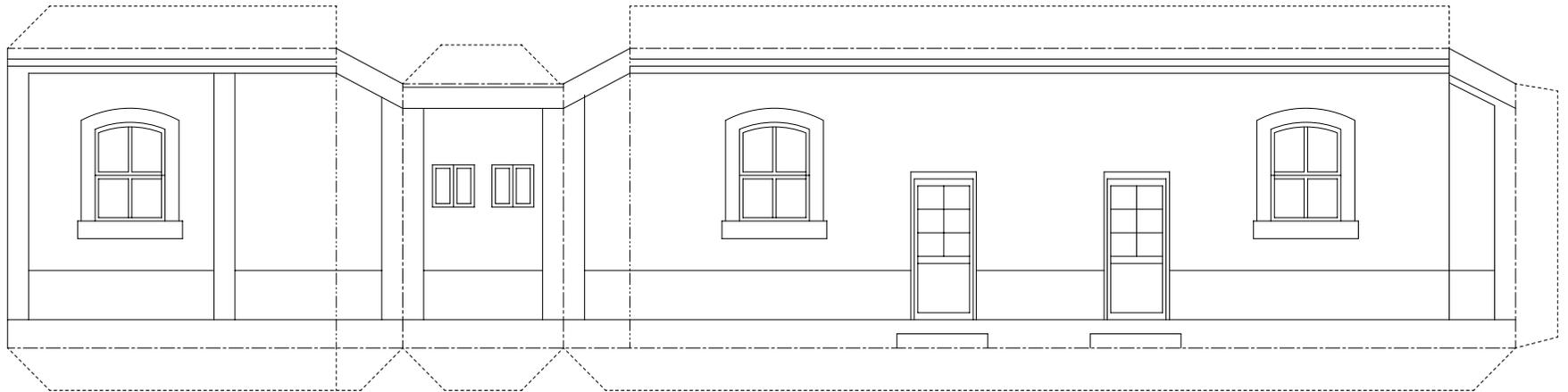
組立て方

1. 折り線部は前もってしごいておく
2. 切り取り後各パーツの形を整える（丸みを付ける）
3. 筒状の部品は組み立て前に筒状に張付ける
4. 建物壁を組立て台紙に張付ける
5. 屋根を壁上部に張付ける
6. 完成

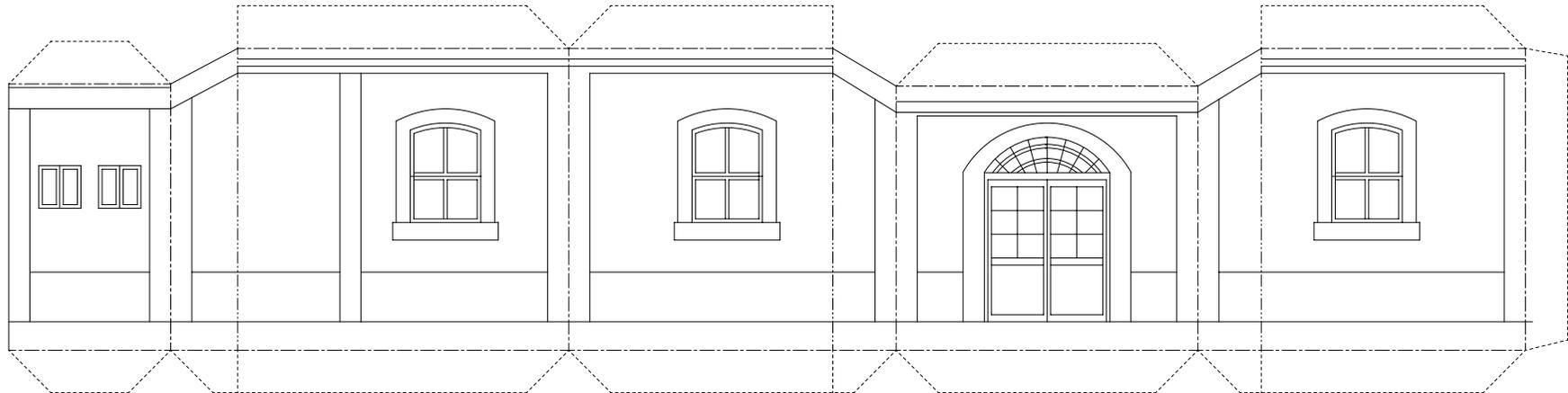
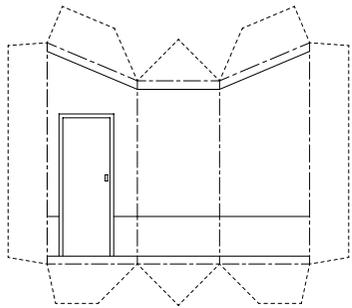
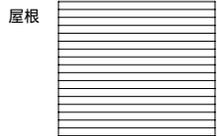
建物壁

同タイプの灯台

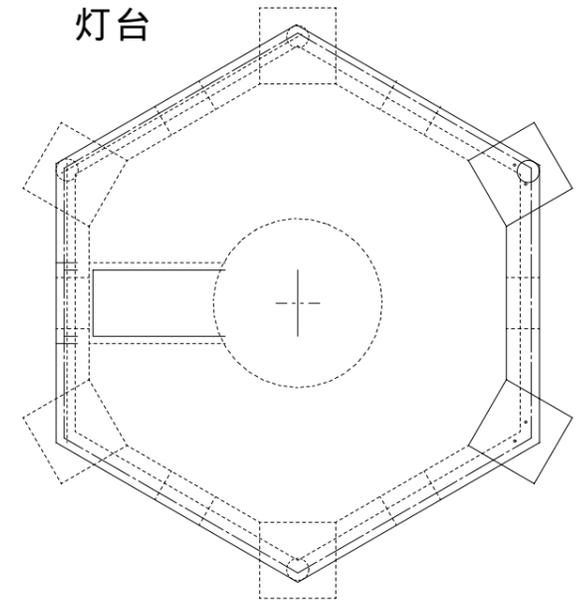
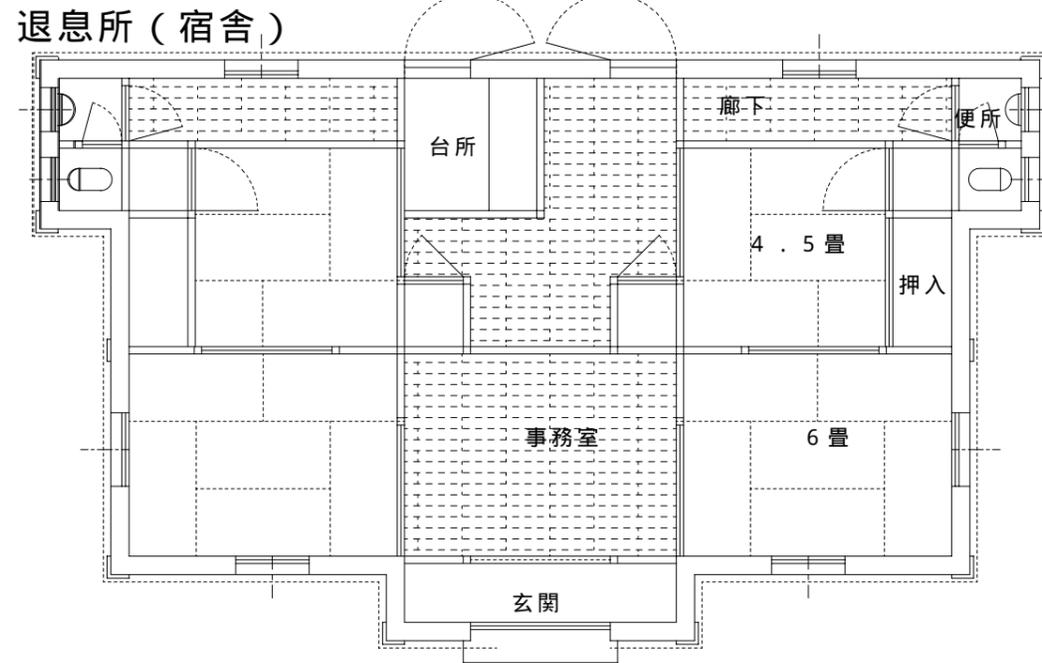
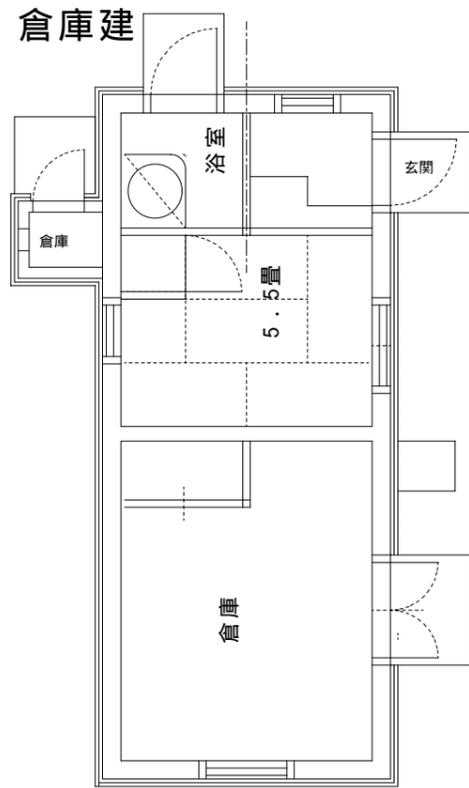
- 和田岬 M 0 5
- 姫崎 M 2 8
- 横浜東・北水堤 M 2 9
- 曾津高崎 M 2 9
- 津堅島 M 2 9
- 長崎鼻 M 3 0



裏手倉庫



大浜灯台 明治35年4月建設当時(想定)




 明治期に建造された灯台 M35 鉄造
 ペーパークラフト NO.180
大浜灯台(初代) O Hama S, 1/100
 来島海峡南口 N 34-05 E 132-59
 灯台の大きさ等(明治44年3月 航路標識便覧表)
 高さ: 灯火 12.4m(4丈1尺) 光り 水面から34.5m(11丈4尺)
 建物: 鉄造 六角型 白色
 光りのとどく距離: 7,000燭光 16.5海里(約30km)
 光りかた: 第四等閃白色 12秒を隔て8秒間に3閃光
 設置年月: 明治35年 4月 日

- 同タイプの灯台
- 和田岬 M05
 - 姫埼 M28
 - 横浜東・北水堤 M29
 - 曾津高埼 M29
 - 津堅島 M29
 - 長崎鼻 M30

